6 セキュリティ

総合力を活かしたトータルセキュリティソリューションの提供で更なる成長を目指す

NOC/SOC 運用の知見を活かしたビジネス展開と、モノ売りからコト売りへ、NTT アドバンステクノロジ（以下、NTT-AT）の総合力を活かしたトータルセキュリティソリューションを提供するセキュリティ事業本部。事例を中心に最近の取り組みを紹介する。

最先端のトータルセキュリティソリューションを提供

NTT-AT のセキュリティ事業本部では、セキュリティアナリストが運営する「ICT-24SOC」と専門技術者による「高度なセキュリティサービス」および「先進プロダクト販売」により、NTT-AT の総合力を活かした最先端のトータルセキュリティソリューションを提供している。

本部長の伊藤新取締役は、「セキュリティ事業のブランドコピーとして、“今日よりも安心できる明日のために、セキュリティをもっと快適に、もっとわかりやすく!”を掲げ、社会の“つながる”を支えるすべての人が安心できる環境を目指し、常に最善の解決策を提供します。」と述べるとともに、事業の目指す方向性として、

①セキュリティ診断＋セキュリティ運用の一体化
②新領域への展開（例：IoTセキュリティ、量子暗号 等）
③お客様の困りごとにリーチする営業（オンラインセミナー開催、サービスメニューの拡充）

の3点に注力する考えを強調した。

以下に、最近の取り組み事例を中心に紹介する。

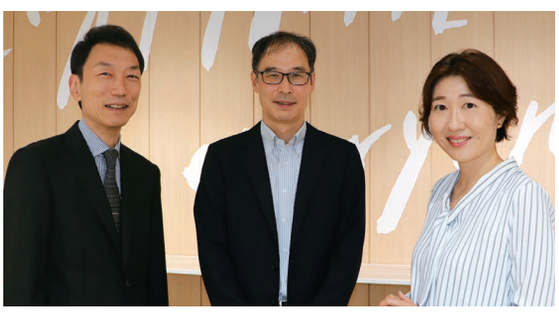
最新事例 1：セキュリティ診断＋運用の強化

セキュリティ事業本部では、海外を含めたサイバー攻撃の高度化、企業内セキュリティ人材不足等から、最新のセキュリティ脅威情報に基づく、クラウド・リモートを含めたお客様環境全体の「定期的セキュリティ診断」と「定常的な運用監視」の必要性が高まると想定し、NTT-AT のセキュリティ診断と SOC 運用監視の強みを活かした「診断・運用融合サービス」を提供することとした。

本サービスは図 1 に示すように、

・セキュリティポリシーと実環境設定の整合性確認
・最新脆弱性の検出・対処
・脆弱性に対する重点監視・インシデント対応

等を支援することで、お客様環境の



NTT アドバンステクノロジ株式会社
（左から）セキュリティ事業本部
取締役本部長　**伊藤 新**氏
セキュリティサービス＆ソリューションビジネスユニット
担当部長　**秋葉 淳哉**氏
主任技師　**徳武 美奈子**氏

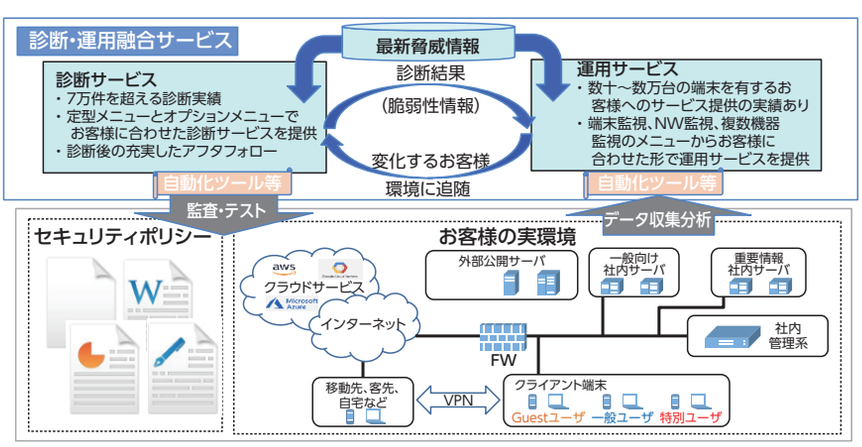


図 1　診断と運用の融合によるビジネス展開

セキュリティを向上させることを目指している。

最新事例 2：EDR 端末監視ソリューション (SKYSEA & yarai SOC)

NTT-AT は 2021 年 8 月 6 日、高度化・巧妙化するサイバー攻撃に対応して端末の監視を強化する「EDR 端末監視ソリューション（SKYSEA & yarai SOC)」の提供を開始すると発表した。

本サービスは、Sky 株式会社が提供するクライアント運用管理ソフトウェア SKYSEA Client View のオプションである「EDR プラスパック」について、24 時間 365 日代行監視を行う SOC サービスだ。

EDR プラスパックは、ログ管理などにより情報漏えい対策や IT 運用管理を支援する SKYSEA Client View の機能と、ファイルの特徴や実行プロセスの振る舞いを監視して検知･防御する株式会社 FFRI セキュリティの yarai を組み合わせ、高度化・巧妙化するサイバー攻撃からリモート環境の端末を含めマルウェアへの感染などを防御する。

図 2 に示すように、EDR プラスパックを利用中のお客様環境と、NTT-AT の ICT-24SOC を VPN 接続し、ICT-24SOC から Client View および yarai を 24 時間 365 日、監視する。yarai で脅威を検知すると、監視経験を豊富に持つセキュリティ技術者が Client View のログ情報を使って解析し、端末隔離などの対処をお客様に代わって実施する。また、お客様に推奨する対策案も提示する。

NTT-AT は 2013 年より一次代理店として FFRI yarai を取り扱っており、2021 年 8 月 現 在、 約 70 社、60,000 ライセンスの提供実績を持つ。この提供実績に基づく構築／運用／トラブル対応のすべてのフェーズに対応する幅広い知見により、FFRI yarai を使用したエンドポイントセキュリティ向上をサポートする。

また、NTT-AT では ICT-24SOC サービスやデジタルフォレンジックサービスを展開しており、多数のインシデント対応経験や、エンドポイント端末の解析スキルを持った技術者による手厚いインシデント対応業務を実施している。高度な資格保有者も多数在籍しており、中でもセキュリティ / クラウド技術者のトップ資格である CISSP/CCSP の取得者は 130 名を超えている。

新施策として オンラインセミナーを開催

コロナ禍でもお客様の困りごとにリーチするために、セキュリティ事業本部では、「NTT-AT　オンラインセミナー」を開催している。最近では、「眠れない情シスシリーズ」を随時開催しており、この 8 月に開催した第 3 弾の「眠れない情シスは、何からやればいいのか?」では、

・標的型攻撃を受けたらどうなるのだろう？
・対策前にインシデントが起こったらどうしよう？
・とりあえずすぐにできることはないだろうか？
・システム・NWの監視運用に手が回らない‥‥

といったお客様の課題に対応したNTT-ATのサービスについて解説し､好評を博したという。

最後に伊藤本部長は､「ゼロトラストの実現に向け、リモート環境・クラウド利用も守るソリューションの提供に加え､IoT セキュリティ見守りサービスをはじめ、さまざまなソリューションを組み合わせたセキュリティサービスを展開していきます。同時に、本部内のセキュリティラボで若手中心に最新技術の目利き・実機評価・弾込めを進め、年率 20% 以上の成長を目指します。」と抱負を述べている。

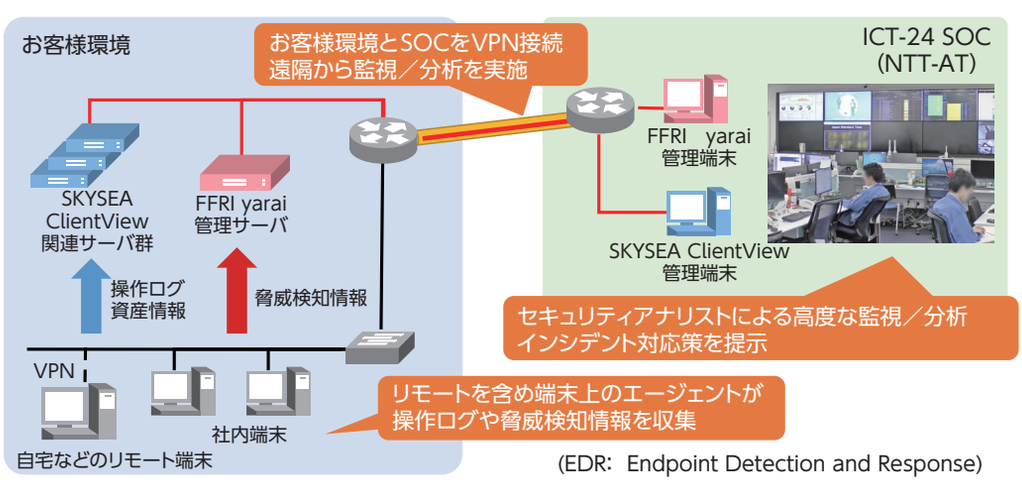


図 2　EDR 端末監視ソリューション（SKYSEA & yarai SOC）の概要